

帰国生徒選抜

●入学者選抜の基本方針

【総合科学部】

小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」ならびに日本語の能力を評価し、また、英語能力試験の成績で英語の能力を評価します。面接では入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

社会人選抜

●入学者選抜の基本方針

【総合科学部】

小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」を、評価します。面接では出願書類及び英語能力試験の成績を参考にしながら入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

【医学部保健学科看護学専攻】

個別試験（学力検査（英語）・小論文）で「基礎学力」「語学力」「理解力・表現力」「思考力・判断力」「幅広い視野」を評価します。これに加えて面接で「関心・意欲・態度」「協働性」「理解力・表現力」を評価します。経験を活かし、健康の維持・増進、生活の質を高めるにふさわしい確かな資質を有する人を総合的に選抜します。

【理工学部】

出願書類で「関心・意欲」と「知識・教養」を評価し、面接では左記の外「態度」「表現力」「主体性・創造性・協働性」を加えて総合的に評価します。主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。

私費外国人留学生選抜

●入学者選抜の基本方針

【総合科学部】

英語能力試験、独立行政法人日本学生支援機構の実施する日本留学試験によって、英語及び日本語のすぐれた能力ならびに「知識・教養」を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」を評価します。面接では日本語の能力と「表現力」「思考力・判断力」に加えて、入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

【医学部医学科】

個別学力検査で「知識・教養」「思考力・判断力」とあわせて「関心・意欲・態度」「表現力」「主体性」を評価します。日本で学ぶ意欲が高く、医学や生命科学に強い関心を持つ人材を総合的に選抜します。

【医学部保健学科看護学専攻】

日本留学試験で「日本語の語学力」「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、これに加えてTOEFLの成績を利用し「語学力」を評価します。さらに、小論文および面接では「関心・意欲・態度」「理解力・表現力」「幅広い視野」も評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

【医学部保健学科放射線技術科学専攻】

日本留学試験で「日本語の語学力」「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験でこれらに加えて「関心・意欲・態度」「応用力」「協働性」「幅広い視野」を評価します。自然科学を理解する基礎学力に優れ、論理的に判断・行動する資質をもつ人を総合的に選抜します。

【医学部保健学科検査技術科学専攻】

日本留学試験で「日本語の語学力」、「思考力・判断力」、「知識・教養」を評価します。これに加えて個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個人面接で「探求力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し、自主的に判断・行動できる確かな資質をもつ人を選抜します。

【歯学部歯学科】

日本留学試験, TOEFL および個別学力検査で入学後の学習に必要な「思考力・判断力」「知識・教養」を備えているかを評価します。また, 面接で「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し, 「協働性」を合わせて評価します。日本文化に強い関心を持つと同時にグローバルな視点からの発想力を備え, それを日本人学生と共有して課題を発見し, 協働して解決できる人を総合的に評価し選抜します。

【薬学部】

日本留学試験等の成績で「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では, これらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。

【理工学部】

小論文で「関心・意欲」「知識・教養」「思考力・判断力」「表現力」を評価し, 面接では左記の外「態度」「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。主体性と専門性を重視するため, 志望コース毎に募集を行います。

【生物資源産業学部】

TOEFL 及び日本留学試験によって, 英語及び日本語の能力ならびに「知識・教養」を考査します。小論文では「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」を, 面接では日本語の能力と「表現力」「思考力・判断力」「関心・意欲・態度」を総合的に評価し選抜します。

注1) 各学部・学科(専攻)の「求める人物像」はP72~93を確認してください。なお, 「知識・教養」で示す「高等学校等で修得すべき具体的な内容」については参考としてください。